

釈然としない委員会変更

見え隠れする参院選の影

鳥取県議会は2年で議長などの人事異動をする慣例があり、6月議会で変更されるかと思っていました。ところが、自民党だけ人事をいじらず、他党派だけ変更するという釈然としないものでした。そこには参院議員選挙の影が見え隠れするのです。

農林水産商工常委に配属

6月定例会初日の6月6日、議会運営委員会が開かれ、私は福祉生活病院常任委員会から農林水産商工常任委員会に所属が変えとなりました。ところが、この変更、私には釈然としないのです。

地方自治法では議長、副議長の任期は、議員の任期と同じであるので、4年です。しかし、鳥取県議会で2年交代が慣例となっており、これに伴って、所属委員会などの人事異動もすることになっていました。自民党の県議から口頭で「委員会の所属変更の希望があれば言って下さい。か

けはしは交渉会派ではないのですが、できるだけ配属します」と申し出がありました。

した。私は福祉生活病院常任委員会の副委員長としてやり甲斐を感じていましたが、その一方で、1期生議員として幅広く経験も積みたいという思いもあり、党派会長の森岡議員に、その思いを話し、そのことを森岡議員は電話で自民党県議に伝えたそうです。

ところが、何の打ち返しもないまま、6日朝になって所属委員会の変更案が配られ、議会運営委員会と本会議で自民、絆の賛成で可決されました。私たちの党派は、全員の所属委員会を変更するという前提で希望を述べただけで、所属委員会の変更希望の届を提出したわけでもないのに、私たちの希望で変更すると言われても釈然としない。加えて、自民党以外の党派だけが所属を変更するのも議会は

運営として公平性を欠くとして、本会議での採決では賛成しませんでした。自民党の県議は「議長選でシコリが残ったら参議院選を戦えなくなるからね」。別の県議は「参院選の論功行賞に人事を使つつもりだよ」と説明してくれました。さすが自民党。策士がいると感心しましたが、議会人事は県民のために適材適所でなされるべきで、党利党略に使つべきではないと私は強く思いました。

議会県余話 繰り返される不穏当発言は問題

鳥取県議会では、毎議会に全議員が質問に立つ権利があり、少数者を大切にす素晴らしい伝統と誇らしく思っています。

平井知事は「せっかくの議員のご提案ですから、関係者と相談してみます」と対応を約束されることも多く、やり甲斐を感じています。

は、参議院選の知事対応について一般質問されたのですが、自民党は県連会長の支配だとか、言いたい放題。まんが博の予算獲得も、川上議員と共に近藤文化庁長官とお会いしたり、財務省の主計官に説明したりと半年にわたって努力してきた成果であるにも関わらず、

「まんが博では復興予算を流用して、小遣いももらったのに仲人した人が出たら、さよならだ」と人を小馬鹿にしたような発言をされました。最後は副知事人事で密約があったとまで口にされ、議員諸兄の堪忍袋も切れ、議事録を確認し、議長が谷村県議に厳重注意。不穏当発言を議事録から削除しました。

ところが、6月21日の本会議で谷村悠介県議

散会后、谷村県議が謝罪にいられたので、「密

返す谷村県議には正直、怒りを禁じえません。

返す谷村県議には正直、怒りを禁じえません。